

えんじゅ

令和5年7月3日発行

松原小学校 N06

** 当面の主な行事予定 **

【 令和5年度 7月 】

- 3 (月) セーフティネット
- 4 (火) 全校集会
- 6 (木) ~ 7 (金)
臨海学校 (5 年生)
- 17 (月) 海の日
- 19 (水) 給食最終日
大掃除
- 20 (木) 開校記念日 (130 周年)
終業式
- 21 (金) 個別面談①
水泳特訓①
- 24 (月) 個別面談②
水泳特訓②

** 当面の主な行事予定 **

【 令和5年度 8月 】

- 1 (火) 登校日
- 8 (火) みどりの少年団交流会
- 11 (金) 山の日
- 14 (月) ~ 16 (月)
学校閉庁日
- 29 (火) 2 学期始業式
交通安全指導
- 30 (水) 給食開始

幸い ~出来る 分かる 認められる~

ある文献に次のような文が記されていました。「子供にとっての本当の幸いとは、出来る・分かる・認められることである」と。「幸い」の意味するところは人によって、地域によって、時代によって様々であると思いますが、この言葉は確かに学校が将来に目指している子供の状態を示しているような気がします。

本日からはどうとう1学期最後の学習月に入ります。本校としては、子供が「出来る」ように授業できたか、子供が「分かる」ように授業できたか、子供が「認められる」ように配慮できたかといった観点を持ち、1学期の指導事項を振り返りながら最後の月の授業に臨みたいと思います。

田植え ~6月13日~

5年生が体験させていただきました。雨天延期となっていましたが、当日は快適に田植えを行うことができました。

8時半過ぎに学校を出発して上田井の田端さんの田んぼに向かいました。9時前には田に到着。既に田端さんは田植えの準備をして下さっていました。



最初に、田植えをする際の注意事項を確認しました。まんべんなく植えるために田んぼにまっすぐに張ったひもについている印を目安に植えること、稲はしっかりと土の中に入れること、稲を植えたらまっすぐに後退して植えていくこと等を確認しました。次に、裸足になり、田んぼに入り、稲を植えていきました。田んぼに入るのが初めての子供もいたため、田んぼのどろの肌触りに驚いたり、楽しんだりしている様子が見られました。

短い時間の田植えとなりましたが、地域の米作りの一端を体感することのできた貴重な経験となりました。

研究会 ~6月16日~

県および町の教育委員会の訪問を受け、研究会を行いました。午前中は各クラスの公開授業、午後は第5学年での研究授業および協議会でした。



研究授業では、5年生が算数科「小数の割り算」に挑みました。普段行っている割り切れる割り算ではなく、答えに余りのあるタイプの問題でした。ただ単に手順通り計算するのは比較的やさしいのかも知れませんが手順の意味を理解して計算するのは難しいものです。子供達は教員の説明をじっくり聞き、指示に従い演習するなど、集中して学習に臨んでいるように見えました。演習を繰り返す中で、計算の手順の意味や合理性をしっかりと感じるようになってほしいものです。

租税教室 ~6月15日~

6年生が授業を受けました。今年度は御坊納税協会から講師をお迎えしまし



た。日本に於ける税金の種類の話から始まり、もし税金がなかったら世の中がどのようなことになるのかといったことについて授業が展開していききました。子供達は、知っているようで知らなかった税金の必要性を感じていました。

避難訓練 ~6月21日~

今年最初の避難訓練を行いました。今回は地震が発生した後に津波の危険性がある場合を想定しました。

10時25分に避難の緊急校内放送をし、一旦運動場に1次避難し校舎の安全を確認後、2次避難として屋上に避難しました。運動場からの2次避難開始が緊急放送後2分37秒、屋上に子供全員が避難し人数確認終了までが4分3秒。避難開始からのトータル時間は6分40秒でした。例年より迅速に避難できたように思います。



避難後には、地震津波のときには高い場所に避難すること、煙樹ヶ浜や西川など海や川の近くは基本的に低い場所であること、お宮やお寺は基本的に高い場所にあること等を確認しました。